

□ 要請番号 (JL54825A32)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
タンザニア	G239 服飾		個別	交替 2代目	2年	・2025/3・2026/1・ 2026/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

首相府(労働・雇用・青少年・障害者担当)

2) 配属機関名 (日本語)

ヨンボ障害者職業訓練校

3) 任地 (ダルエスサラーム市) JICA事務所の所在地 (ダルエスサラーム市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は1973年に設立された2年制の障害者向け職業訓練校である。卒業後の生徒の経済的自立を目的とし、電気、服飾、農業など8コースがある。生徒数は110名。全寮制で、生徒は学校敷地内で寮生活をしながら、他の職業訓練校と同じカリキュラムを時間をかけて学んでいる。生徒の障害は多様であるが、聴覚障害、知的障害の生徒が比較的多い。また、短期コース(3ヶ月、6ヶ月)も開講しており、2023年は約200名が受講した。2023年9月よりJICA海外協力隊(障害児者支援)が活動中である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当職業訓練校では、障害の種類に関係なく一緒に授業を受けている。設備面は政府や外部の支援で整いつつあるが、教員不足が深刻である。服飾コースは、卒業後、独立起業が容易であることから多くの生徒が希望するコースだが、同コースを支えているのは8年の経験を持つボランティア講師(卒業生)である。実習による生徒の基本的な服飾技術の定着・向上、同僚講師の技術および指導能力向上を目指して、JICA海外協力隊が要請された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

同僚講師と協力して、以下の活動に取り組む。

- 服飾コースの生徒を対象に、実習指導を行う。(足踏みミシンを使用した基本的な被服製作)
 - 講師を対象とした被服製作技術の向上、および実習指導能力の向上支援。
 - 生徒の障害に合わせた効果的な指導方法の検討、実践支援。
 - 可能な範囲で、現地の素材を活かした服の新規デザインを提案する。
- *可能であれば、手工芸品のデザインの提案、作成も期待されている。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

実習室:足踏みミシン21台(CITIZEN製)、オーバーロックミシン1台(CITIZEN製)、電動式ミシン1台(足踏みミシンにモーターを付けたもの)

4) 配属先同僚及び活動対象者

校長:女性、50代

服飾コース:ボランティア:20代、男性、経験8年、職業訓練校卒

配属先スタッフ:29名(講師5名、医療系スタッフ、事務スタッフ、ボランティア等)

活動対象者:服飾コース生徒40名、15歳以上(成人含む)、小学校卒業以上、初心者

5) 活動使用言語

スワヒリ語

6) 生活使用言語

スワヒリ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]： ()

[性別]： () 備考：

[学歴]：(専門学校卒) 備考：講師として活動する上で必要。

[経歴]：(実務経歴) 2年以上 備考：実習指導をするため。

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(サバナ気候) 気温：(25～35℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

タンザニア赴任後の研修で、スワヒリ語を学習する予定です。